1993●平成5年
建昌幼稚園、新園舎完成（3月）。JR帖佐駅構内の地下道完成（3月1日）。帖佐人形を県伝統工芸品に指定（3月29日）。連日の豪雨で山崩れが起こり、寺師で死者1名（6月26日）。帖佐第1地区土地区画整理の事業認可（7月）。天文台「スターランドAIRA」開館（7月21日）。国道10号線磯～白浜間、大規模ながけ崩れ発生（8月6日）。町人口4万人を突破（10月21日）。高齢者訪問給食サービスの開始（12月15日）。北山上・中地区にテレビ共同受信施設が完成（12月）。

1994●平成6年
ゴミの分別収集始まる（1月1日）。帖佐小屋内運動場竣工。帖佐小学校の体育館完成（3月30日）。8・1豪雨災害による姶良ニュータウン西斜面の防災工事始まる（7月12日）。8・1豪雨災害で流出した城瀬橋の開通（10月）。帖佐第1区画整理事業の工事始まる（11月）。

1995●平成7年
町立少年少女合唱団の発足（5月13日）。石畳道の白銀坂が建設省「歴史国道」に選定される（6月20日）。町役場庁舎2号館落成式（9月29日）。町立図書館起工式（10月22日）。国勢調査、人口4万652人（10月）。姶良町民俗芸能大会『豊年祭』開催（11月5日）。住居表示の実施（西姶良1～4丁目、11月6日）。町制施行40周年記念式典開催（11月7日）。姶良町郷土誌発行、発売（12月）。

1996●平成8年
木津志自治会が国民年金の優良納付組織として知事表彰を受ける（11月）。総合運動公園野球場スタンドオープン。

1989～2010
平成元年～平成22年

平成 15年 ―
天皇皇后両陛下ご来庁。

平成 17年 ―
北山伝承館が落成。

平成 21年 ―
あいら清掃センターが供用開始。

平成 20年 ―
ねんりんピック鹿児島（全国健康福祉祭）のペタンク交流大会が開催される。

2004●平成16年
県防災研修センターの開所（4月）。中央公民館ホール舞台設備改修完了（5月）。宮田ヶ岡瓦窯跡が国史跡に指定（9月）。

2005●平成17年
町制50周年記念式典開催（1月23日）。中山間地域の振興のため、北山伝承館が落成（7月29日）。姶良総合運動公園に体育館が落成（10月23日）。

2006●平成18年
選挙により、城光寺俊和町長が誕生（4月23日）。白銀坂が国史跡となる（7月）。くすのき自然館が県民表彰を受賞（11月）。少年の主張全国大会において、山田中の新薗祐花さんが内閣総理大臣賞を受賞（11月）。

2007●平成19年
町地域包括支援センターの発足（4月）。

2008●平成20年
北山中甑地区に飲料水供給施設を設置（3月）。ねんりんピック鹿児島（全国健康福祉祭）のペタンク交流大会が開催される（10月26・27日）。

2009●平成21年
重富に県警察学校が開校、敷地約5万平米（3月12日）。あいら清掃センターが供用開始（4月）。部分日食が姶良町でも観測され、話題となる。

2010●平成22年
姶良町・加治木町・蒲生町の3町が合併し、新しく「姶良市」が発足予定（3月23日）。

姶良の宝

時を重ね、町が歩んできた長い道のり
町の歴史を振り返れば、そこには人々が産み育んできた宝物があります
そんな姶良の自慢は、今も大切に受け継がれています

姶良自慢

【未来へつなげる財産】

【ちょうさにんぎょう】帖佐人形

伝統工芸

帖佐人形は鹿児島県を代表する土人形です。昔から3月と5月の節句に子どもの成長を祈念し、親戚

【がいせんもん】凱旋門

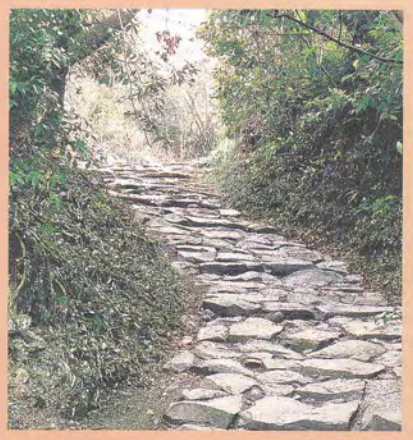
歴史遺産

凱旋門は、日露戦争に従軍した兵士の無事な帰国を記念して、明治39年3月に当時の山田村兵事会が建立しました。鹿児島が誇るアーチ式の石橋技術を応用したものであり、全国的にも大変珍しい戦争遺跡です。使用された石材は近くの池平から切り出したものとされています。この門の先には招魂社があり、西南戦争から大東亜戦争までの記念碑が残っています。

【しらかねざか】白銀坂

歴史遺産

白銀坂は、姶良町脇元から鹿児島市牟礼ヶ岡までの石畳の残る旧街道です。この旧街道がある山並みは、かつての薩摩国と大隅国の国境でした。戦国時代には島津貴久や島津義弘などの武将たちがこの坂に陣を構えたといわれています。江戸時代には、鹿児島藩の主要街道である「大口筋」として整備され、藩内随一の難所として知られていました。



知人から送られるものでした。この人形の起源は、島津義弘が朝鮮から連れ帰った陶工たちが故国をしのんでつくったものといわれているほか、高樋の永井仲右衛門という人が壷屋の「阿弥陀」というところに住み着いた僧に教えを請い、製作したともいわれています。

土の温もりと原色系の彩色が特徴の人形です。400年の歴史を持つとされています。

【しょうちゅう】焼酎

特産品

鹿児島県は全国第1位のサツマイモの生産地。焼酎づくりは10月から11月にかけてのサツマイモの収穫時期と同時に始まります。芋焼酎は唐芋と米こうじからつくられますが、仕込みで大切なのは水。姶良町には清らかな水が湧き出ており、焼酎づくりに適した場所です。昔、布引の滝から水を汲んでいたという蔵元もあり、おいしい焼酎をつくり続けています。

白金酒造の代表的な銘柄「白金乃露」、「白金乃露 黒」は芋焼酎の王道です。

【のうさんぶつ】農産物

特産品

新鮮で安全・安心、顔の見える農産物が求められている現在。姶良町ではこうしたニーズに対応する野菜づくりに取り組んでいます。稲作をはじめ、ダイコン・タマネギ・ハクサイ・キャベツなどの野菜を中心に生産し、まだまだ有機農業が注目される以前より、有機農業の町として全国に先駆けた取り組みを誇っています。人にも環境にもやさしい野菜づくりだけでなく、地産地消型の流通体系づくりにも努めています。

自慢の野菜を皆さまの食卓へお届けします。

葉にんにくやホウレン草、なす、コサンダケなど姶良町のとれたて野菜は、直売所に並ぶほか、学校給食にも使用され、地域の安全・安心の食を支えています。新鮮な野菜は町の誇り。これからも本物の農業の姿を追求していきます。

歴　代　町　長

水流　清高

初代　昭和30年 1月～昭和34年 1月
2代　昭和34年 1月～昭和38年 1月
5代　昭和46年 1月～昭和50年 1月

池田　盛孝

3代　昭和38年 1月～昭和42年 1月
4代　昭和42年 1月～昭和46年 1月

岩根　清春

6代　昭和50年 1月～昭和54年 1月
7代　昭和54年 1月～昭和58年 1月

西野　繁

8代　昭和58年 1月～昭和62年 1月
9代　昭和62年 1月～平成 3年 1月

櫟山　和實

10代　平成 3年 1月～平成 7年 1月
11代　平成 7年 1月～平成11年 1月

福元　久夫

12代　平成11年 1月～平成15年 1月
13代　平成15年 1月～平成18年 3月

城光寺　俊和

14代　平成18年 4月～平成22年 3月

歴代議長

今村 静

初代 昭和30年 1月～昭和30年 4月

小山 繁

2代 昭和30年 4月～昭和34年 4月

久保 忠義

3代 昭和34年 5月～昭和38年 4月

森川 重男

4代 昭和38年 5月～昭和42年 4月
5代 昭和42年 4月～昭和42年 7月
8代 昭和50年 5月～昭和54年 4月
9代 昭和54年 5月～昭和58年 4月

藤崎 安雄

6代 昭和42年 7月～昭和46年 4月

後藤 景雄

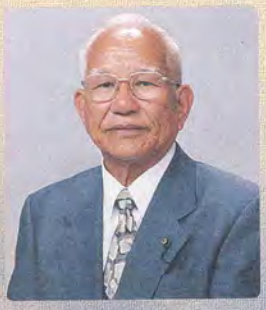
7代 昭和46年 5月～昭和50年 4月

小川 正澄

10代 昭和58年 5月～昭和62年 4月
11代 昭和62年 5月～平成元年 3月

春山 義治

13代 平成 3年 5月～平成 7年4月
14代 平成 7年 5月～平成11年4月



風呂 静夫

15代 平成11年 5月～平成15年 4月

新屋 幸一

16代 平成15年 5月～平成19年 4月

隈元 康哉

12代 平成元年 3月～平成 3年 4月
17代 平成19年 5月～平成22年 3月

町民憲章

私たちは、姶良町民であることに誇りをもち、みんなで住みよい文化の町をつくるために、進んで次のことを行います。

一、私たちは、きまりを守り明るい町をつくります。

一、私たちは、心を合わせきれいな町をつくります。

一、私たちは、気をくばり健康な町をつくります。

一、私たちは、よく働き豊かな町をつくります。

一、私たちは、子どもを守り教育の町をつくります。

（昭和四十三年六月二十一日制定）

町章

この町章は、昭和39年6月制定したもので姶良町の「アイラ」の字を図案化したものです。

全体としては、躍進する大“アイラ”町を象徴し、左右はまさに飛びたとうとする若鳥の羽をひろげた姿を意図したものです。

町木

やまざくら

バラ科の落葉高木。町内の公園などに多く植えられており、町民に親しまれています。

昭和53年1月制定

町花

さざんか

ツバキ科の常緑広葉樹。日本の代表的な花木のひとつ。晩秋から冬にかけて咲く清楚で美しい花です。

昭和53年1月制定

姶良町町歌

作詞：森 常雄
補修：久保田 彦穂
作曲：武田 恵喜秀

(一)
光みち 光みち
空に燃え 桜島山
さきがけて 未来をのぞみ
若き芽の ここにめばえて
お お 姶良 明日のふるさと

(二)
虹うまる 虹うまる
豊かなる 二つの流れ
むつまじく 肩くみかわし
真心の 珠をわけ合う
お お 姶良 幸のふるさと

(三)
雲ゆする 雲ゆする
槌の音 こだまも高く
野に山に 汗をたたえて
躍進の 意気は脈うつ
お お 姶良 伸びるふるさと

姶良音頭

作詞：若林 辰郎
作曲：武田 恵喜秀

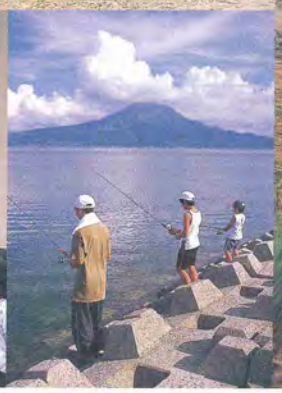
(一)
ハァ 茜ひと刷毛
鹿児島湾の
波に夜明けのちらし紅
鳴くは姶良の鳴くは姶良の
一番鶏かソレケッコウケッコウ
姶良よかとこ 夢の町 ソレ 夢の町

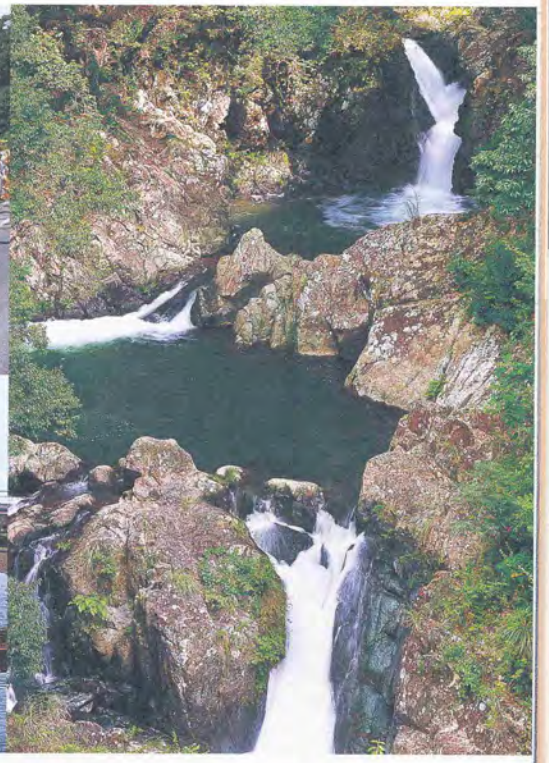
(二)
ハァ 咲いてうれしや
臥竜の梅に
春がひとあし先にくる
姶良娘も姶良娘も
花ならみごろソレケッコウケッコウ
姶良よかとこ 花の町 ソレ 花の町

(三)
ハァ 夏は水着の
色とりどりに
ひらく重富パラダイス
人のなさけも人のなさけも
色よく合ってソレケッコウケッコウ
姶良よかとこ 若い町 ソレ 若い町

(四)
ハァ 池は住吉
大蛇のすみか
姶良風土記の語り草
詣りゃあらたか詣りゃあらたか
米山薬師ソレケッコウケッコウ
姶良よかとこ 歌の町 ソレ 歌の町

(五)
ハァ 別府思の
川風夜風
月は十五夜テレビ塔
ベッドタウンのベッドタウンの
あの窓の灯もソレケッコウケッコウ
姶良よかとこ 伸びる町 ソレ 伸びる町



愛つなぐふるさと

きらめく海と緑豊かな山々に囲まれた姶良町。
恵まれた自然の中で芽生える、
温かい心と絆がつながって、
愛情いっぱいのふるさとの風景が広がっています。